

第24回さの秀郷まつり

8月6・7日の両日、佐野市役所周辺を会場に開催されました。

初日は「秀郷流流鏝馬」や約1千人が踊る「市民総踊り」が実施されたほか、2日目には神輿やお囃子の巡行、佐野ブランド大使・ダイヤモンド☆ユカイさんのミニライブなどが開催され、多くの方がお祭りを楽しみました。



第40回たぬまふるさと祭り

7月24日、田沼行政センターの駐車場で「たぬまふるさと祭り」が開催されました。

今年は「田沼の水で地球を冷やせ!」をテーマに開催され、午前は小学生、午後は一般を対象に雪の塊を水風船に見立てた「水合戦」が行われました。水合戦では各チームが作戦を立て、合戦。盾から飛び出して、水風船を投げ合いました。選手にあたり損ねた水風船の水が周りの観客にも飛び交い、歓声があがっていました。

また、夜には「どまんなか総踊り」や「ASOレンジャーショー」が行われたほか、第40回の開催を記念した花火が打ち上げられ、多くの地元住民がお祭りを楽しんでいました。

第1回ムスリムソンを開催

ムスリム（イスラム教徒）+マラソン＝ムスリムソン！

面白いネーミングのこのイベントは、



ムスリムが思う魅力的な佐野市のスポット（ムスポット）をムスリムソンに参加した人たちがSNSなどで発信し、世界に佐野市などの魅力を紹介してもらおうという世界初のイベントです。

猛暑の7月18日、お揃いのTシャツで市役所駐車場を出発した参加者12名とスタッフ10名は厄よけ大師や唐沢山などの名所を巡りました。

ムスリムソンを主催する両毛インバウンド推進協議会（五箇大也会長）では、寿司にぎり体験、食事会でたこやきを焼いたり、次々におもてなしイベントを開催しています。

世界中でテロが頻発し、イスラムのイメージが良くない中、こういった楽しい話題が世界に広がり、その発信元が佐野市であることは嬉しいことです。（市民記者・永倉文子）

国際クリケット場（旧田沼高校運動場）で合宿や試合が実施

旧田沼高校運動場はこの4月から「国際クリケット場」として、日本国内唯一のクリケット専用競技場として、クリケットの練習場や試合会場として利用されています。

8月には慶應大学の学生が合宿に訪れたほか、「パキスタン独立記念クリケットカップ」などが開催され、市外から多くの方が訪れています。

市では「スポーツ立市」をリーディングプロジェクトに掲げ、スポーツでの交流人口の増加を目指しています。

8月3日から5日まで合宿した慶應大学の皆さん



ムスリムの方々の観光誘客

市では両毛ムスリムインバウンド推進協議会とともに、ムスリム（イスラム教徒）の方々の観光誘客（インバウンド）に取り組んでいます。

8月7日から9日にかけては、インドネシアより視察ツアーをお招きし、佐野市など両毛地域の観光スポットなどを視察していただきました。

また、9日には、佐野市・両毛ムスリムインバウンド推進協議会・ジャパンハラルツアーセンターの3者が本市へのムスリムツアーの事業実施に向けた基本合意書を締結しました。

今後、佐野市を含めた日本ツアーが実施され、多くのムスリムの方が来る予定です。



産業団地への立地協定を調印

現在、市では佐野インター産業団地（第2期）を造成していますが、8月8日、このうちの2区画について2社と立地協定を調印しました。

この2社は(株)大協精工と共和工業(株)。(株)大協精工は佐野市内に複数の工場を持ちますが、このたび本社機能を佐野市に移転します。この移転は国が推進する地方創生に伴う企業の地方拠点強化（本社機能移転）の本市における第1号となります。

佐野インター産業団地（第2期）は、この秋から分譲予約公募を始める予定です。

